

事業所名

こどもデイ はれいろ

支援プログラム

法人（事業所）理念	株式会社Aimee（エイミー）はaimee:愛される・かけがえのない、という意味のフランス語由来です。Ai（愛）mee(me)の意味も込めて。自分の人生を諦めることなく生き、自分を愛して欲しい。そしてその先にある、かけがえのない存在と共に、明るい未来を描けるような、そんな社会を実現します。 誰一人取り残さない社会へ、を理念とし、だれもが当たり前の人生を、自分らしく生きれる社会をつくるために、重心型児童発達支援こどもデイはれいろを立ち上げます。
支援方針	「児童一人ひとりを尊重し、その可能性を最大限に引き出す」ことを目標にしています。 全人的な視点での支援、多職種連携、家庭との協力を基盤とし、児童が安心して成長できる環境を提供します。 家族支援（きょうだいへの支援も含む）、移行支援（ライフステージに合わせた長期一環療育への働きかけ）、地域支援・地域連携、職員の質の向上に資する取り組み、も同時に行います。 重心児発達支援で大切にしたいこと・・小さな反応を見逃さない。わずかな表情の変化や視線、呼吸の変化を読み取る。 無理のないスモールステップ・・過度な刺激を避け、個々のペースに合わせた支援を行う。 環境調整の工夫・・騒音や強い光を避け、安心できる空間を提供。児童に合わせたクッションや装具を使用する。 家族との連携強化・・家庭でもできるケア方法や刺激の提供を共有。保護者のメンタルサポートも手厚く行う。
支 援 内 容	
健康・生活	目的: 基本的な生活習慣や健康管理を促進し、身体機能の維持を図る。基本的な生活スキルの獲得。 具体的な活動: ①健康チェック・・毎朝、体温・脈拍・血圧を測定し記録する。観察記録を作成し、体調の変化に早く気づく。日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれのこどもが持つ機能をさらに発達させながら、こどもに適した身体的、精神的、社会的支援を行う。 ②食事・嚥下サポート・・個別の食事形態対応: パースト食、ミキサー食、経管栄養など。口腔ケア: 食後の口腔内清掃と、嚥下を促すマッサージ。姿勢保持、手指の運動機能等の状態に応じた自助具等に関する支援を行う。 ③排泄支援・・排泄リズムに合わせたトイレ誘導や、排泄後の清潔保持。 期待される効果: 健康管理の習慣化と安定した生活リズムの確立。体調変化の早期発見と予防。構造化等による生活環境の調整生活の中で、様々な遊びを通した学びが促進されるよう環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。
運動・感覚	目的: 基本的な運動機能を維持し、身体感覚を刺激する。感覚の補助及び代行手段の活用。 ①関節可動域訓練・・理学療法士と連携し、ストレッチや関節運動を実施。 筋緊張を緩和するマッサージを取り入れる。 ②姿勢保持訓練、補助手段の活用・・座位保持装置やクッションを使い、運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用して安定した姿勢をサポート。 ③保有する感覚の活用、感覚統合運動・・バランスボールや揺れる遊具を使った体幹刺激。柔らかい布やブラシを使用し、皮膚への刺激を与える。 保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 期待される効果: 筋緊張の緩和と関節拘縮の予防。感覚統合の促進と、身体機能の維持・向上。
五領域 認知・行動	目的: 認知の特性についての理解と対応、認知機能を高め、行動の理解と自己調整力を育む。 ①視覚・聴覚刺激・・光やカラフルな玩具を使用し、視線の追跡を促す。音楽や効果音を用いて、聴覚の反応を引き出す。 ②原因と結果の理解・・スイッチ操作活動: ボタンを押すと音や光が出る仕組みを利用し、因果関係を学ぶ。選択活動: 好きな音や映像を選ばせることで、選択肢を理解する。 ③行動観察と記録・・日常の行動を観察し、反応パターンを記録することで、支援計画を調整する。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。 期待される効果: 認知機能の向上と、行動の予測や自己調整力の育成。因果関係や選択の理解を深める
言語 コミュニケーション	目的: 意思伝達手段を増やし、コミュニケーション力を向上させる。 ①非言語的コミュニケーション支援・・手を握る、笑顔を返すなど、簡単なジェスチャーで反応を引き出す。表情や微細な反応（目の動き、呼吸の変化）を読み取り、意思として尊重する。音楽や触覚刺激（布、マッサージ）を通じて、反応を引き出し、各種の機器等を用いて意思のやりとりが行えるように、コミュニケーションを促す。 ②意思表示訓練・・ボタンを押すと音が出るスイッチや、視線入力装置を活用。ピクトグラムや絵カードを使い、選択肢を提示して反応を見る。 具体的な事象や体験と言葉の意味を結びつけること等により、自発的な発声を促し、体系的な言語を身につけることができるよう支援する。 ③反応確認の反復訓練、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得・・児童が好きな音や触覚刺激に対する反応（視線、表情）を観察し、繰り返す。 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、相手との同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 期待される効果: 自己表現の向上、意思が伝わることでストレスの軽減、他者とのつながりを感じることで、社会性を育む。

人間関係
社会性

目的：他者との関わりを促進し、社会性や安心感を育む。

①触れ合い活動、アタッチメントの形成・・保育者や家族と手を握る、背中をなでるなどのスキンシップ。

表情や声の変化に合わせた応答を行う。「安心の基地」の役割を果たせるよう支援する。

②仲間づくり、グループ活動・・集団での歌や音楽活動に参加する。他の児童と同じ空間で過ごすことで、相互理解や互いの存在を認めながら仲間づくりにつながる支援をし、社会性を育む。

③家族参加型・・保護者と一緒に活動を行い、家庭でも取り入れられるケアを共有。

期待される効果：安心感と信頼感の向上。他者との関わりを通じた情緒の安定